

平成22年度 狭山市立入間川中学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1) 確かな学力の確立 (2) 充実した学校生活の中で豊かな心を育む (3) 地域に根ざす学校づくり
(4) 安全で安心な学校づくり (5) 学びの継続性の推進

2 本年度の経営方針

確かな学力・豊かな心・健やかな体の3つの要素を基盤として生きる力を育む教育を推進する

3 自己評価・学校関係者評価結果

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教育目標	1	共通理解が図られ、実現の努力がなされたか。	B	子供の変容を通して、保護者へ学校教育目標のさらなる浸透を図る。
	2	保護者への浸透が図られたか。	B	
	3	経営方針について共通理解が図られ実現の努力が図られたか。	B	
2 校務分掌	4	分掌の内容や責任が明確であったか。	B	職員数が減ってきているなかで校務分掌の整理統合が必要になってきている。今年度は生徒会の委員会を整理統合した。
	5	分掌が活発に機能し各分掌の連携が図られたか。	B	
	6	各分掌の組織が合理的に編成されているか。	B	
3 教育計画	7	学校教育目標や経営方針を具現化するために編成されている。	B	教育課程の移行期でもあり24年度の完全実施に向けて研修を通して一人一人の職員の意識を高める。
	8	年間授業日数が適切に配当されていたか。	B	
	9	授業日数の確保の努力が十分なされたか。	B	
	10	開かれた学校づくりに努力がなされたか。	A	
	11	教員が教育計画実施の担い手であるという自覚を持てたか。	B	
4 学年学級経営	12	時間割により十分な成果を得ることができたか	B	生徒の自主性を育てる観点と、教師が最終的に点検し評価する観点の両方が重要である。教師からの指示待ちの生徒が多いなか、生徒の自己決定の場を設定することで、生徒の自主性・意識の高揚を高めるとともに教師が最終評価し生徒に戻す必要がある。
	13	学校・学年・学級経営の方針に一貫性があったか。	A	
	14	計画的、意図的に学年、学級経営が進められたか。	B	
	15	生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	B	
	16	教室環境の整備に努力がなされたか。	A	
	17	朝の会、給食、清掃、帰りの会などに工夫改善が加えられたか。	B	
5 学習指導	18	朝の読書への取り組みがしっかりなされたか。	A	保護者からの要望でも学習に関するものが一番になっている。休業期間中の補習活動、試験前の学習会等、昼休みの質問教室等生徒の学力保障のために地道に取り組んできた。
	19	生徒が進んで学ぶ授業の改善がなされたか	B	
	20	基礎的、基本的内容を身につけさせるような工夫改善がなされたか。	A	
	21	生徒の長所を伸ばす評価の工夫がなされたか。	B	
	22	視聴覚・情報機器の積極的、効果的な利用がなされたか。	B	
6 選択教科	23	教員数、施設、設備などの実情に応じたコースの設定がなされたか。	B	移行期間でもあり、力をつく選択教科の授業づくりをすすめてきた。
	24	生徒の個性を生かした学習内容、学習方法の工夫がなされたか。	B	
7 道徳教育	25	全体計画を理解し、全教育活動をとおして道徳教育の実践がなされた。	B	学校での諸活動を通して、価値の内面化を図り、実践力のある道徳教育を進める
	26	道徳の時間が生徒の実態把握に基づき、計画的に実践されたか。	B	
8 特別活動	27	全体計画を理解し、生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	B	生徒会・ボランティア有志が地域と連携し、学校前歩道の花植えをはじめ赤間川の清掃活動、地域清掃など様々な体験的活動を展開してきた。
	28	全体計画が、生徒の実態把握に基づき、計画的に実施されたか。	B	
	29	生徒会活動などの特性が理解され、生徒の自己実現がなされたか。	B	
	30	奉仕活動の活発化がはかれたか。	A	
9 学校行事	31	学校行事が計画的に実施されたか。	A	30周年行事を中心に地域と一体となつて体育祭・なでしこ祭など充実した学校行事が展開できた。
	32	学校行事の特性を生かし、生徒の自己実現が図られたか。	A	
	33	職員の仕事分担が適切であり、お互い協力がなされたか。	A	
10 生徒指導	34	全体計画に基づき、計画的な指導がなされたか。	B	生徒指導部会・相談部会を毎週交互に実施することで生徒理解が図られた。特に相談室との連携で大変参考になる情報が得られた。生活面では挨拶・時間についてはおおむね満足できる状況にあるが、清掃については改善の余地が残った。委員会活動の活性化など含め来年度課題をクリアする。
	35	職員に共通理解があったか。	B	
	36	カウンセリングマインドに心がけて指導がなされたか。	B	
	37	教育相談活動が計画的に実施されたか。	A	
	38	基本的生活習慣が定着するよう指導がなされたか。	A	
	39	生徒が意欲的に清掃活動を行うよう指導がなされたか。	B	
	40	いじめや不登校の指導が積極的になされたか。	B	
	41	不登校生徒が出ないよう努力がなされたか。	B	
	42	家庭、地域、諸機関との連携が密に行われたか。	A	

11進路指導	43	全体計画に基づき、計画的な指導が行われたか。	A	生徒・保護者向けに進路便りの定期発行など啓発活動を展開する。
	44	生徒が自己の生き方について考えることのできる授業や指導がなされたか。	B	
	45	家庭との連携が行われたか。	B	
12 保健・安全指導	46	保健観察が丁寧に行われた。	B	栄養職員と連携を図って食育に取り組んだり、保健委員会を中心に歯磨き運動を展開した。また校舎の老朽化もあって軽微な補習については学年単位の修理箱を用意したりして随時職員・生徒で取り組んできた。
	47	たか。	B	
	48	健康や体力向上に進んで取り組む指導がなされているか。	B	
	49	治療が必要な生徒に適切に治療勧告がなされたか。	A	
	50	事故に対する対応が適切になされたか。	A	
	51	性に関する指導が共通理解のもとに行われたか。	B	
13職員会議	52	給食指導が適切になされたか。	B	企画委員会などで議題を充分精査して望んでいたのでスムーズな運営ができた。
	53	開始時刻が守られたか。	B	
	54	問題意識を持って臨めたか。	B	
	55	議案の内容や提案のし方が適切であった。	A	
	56	建設的な意見が述べられ、よりよい会議の進行に協力的であったか。	A	
	57	会議の内容がよく理解され、決定されたことが責任持って実行できたか。	B	
14教職員の服務	58	自己評価シートの内容が適切に進められたか。	B	ライフサイクルの中で親の介護、子供の養育、自己の健康管理などさまざまな課題があったが、職員の一致が図られており補完しあえる関係が築かれている。
	59	教育公務員としての自覚を持ち公務員倫理のもとサービスの厳正に努めたか	B	
	60	ゆとりを持った出勤がなされたか。	B	
	61	服装、言葉遣い、挨拶等は適切であったか。	B	
	62	出張や研修の報告が速やかに行われたか。	B	
15校内研修	63	組織の一員としての自覚に基づき一人一人の責任が果たせたか。	A	小中連携教育では、夏季休業期間中の合同研修会や東洋大学の駅伝部において指導を受けるなど有効な活動が組めた。
	64	健康維持増進のための努力がなされたか。	B	
	65	研究主題が生徒・地域の実態や課題を踏まえた適切なものであったか。	B	
	66	研究組織やすすめ方は研究内容に応じて合理的・機能的であった。	B	
	67	教職員が意欲的に取り組んでいたか。	B	
16施設設備	68	研究の結果、生徒の変容が見られ、生徒のためになったか。	B	今年度は教材資料室・余裕教室を整備することができ教育環境も少しずつ整ってきた。また親父の会の全面協力を得て木々の剪定など進めることができた。
	69	研究内容が日々の指導の中に生かされ、教員にもしっかり身についたか。	B	
	70	研究の成果を次年度に生かす見通しができたか。	B	
	71	施設設備が丁寧に正しく利用できたか。	A	
	72	備品の所在数量使用方法などが明確に把握され、有効に利用されたか。	B	
17学校事務	73	使用後は施錠等が確実になされしっかり後始末ができたか。	B	集金については、事務職を中心に未払いの家庭に随時連を取り、ほぼ全員から集金ができた。また書評簿等についてもよく整理されている。
	74	掲示施設が有効に活用され、掲示教育が積極的になされたか。	A	
	75	環境整備に生徒も積極的に参加し、積極的な活動がなされたか。	A	
	76	出勤簿は毎朝、押印された。	B	
	77	旅行命令簿はその都度、適切に記入された。	B	
18PTA 家庭・地域	78	出席簿は毎日記入され、月ごとの集計は滞りなく行われた。	A	今年度は地区懇談会の持ち方を改善し、学校で講演会(ネット問題)兼地区懇談会という形をとり出席率も改善された。
	79	文書は事前に校長に提出し、点検を受け、期限までに発送されたか。	B	
	80	現金の取り扱いには細心の注意が払われ、会計事務は適切に処理されたか。	A	
	81	家庭訪問・保護者会等は適切に計画され遂行されたか。	A	
19 部活動	82	あったか。	A	勝負至上主義に落ちいらないよう留意
	83	地域や家庭を積極的に理解するよう努力されたか。	B	
	84	積極的にPTAや地域の活動へ積極的に参加したか。	A	
	85	部活動の指導は計画的に適切に行われたか。	A	
20総合学習	86	内容は生徒の興味をそそるものであったか。	A	津南町との連携を通し農業体験、民泊など新しい取り組みが展開できた。
	87	計画に沿って実施できたか。	A	
	88	図書室・コンピュータ室等の利用は計画的に適切に行われたか。	B	